

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	文化観光国際部国際課
施策名	(2) 本県ならではのソフトパワーの活用・発信	課(室)長名	永橋 勝巳
事業群名	② 朝鮮通信使関係資料のユネスコ記憶遺産登録推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>日韓の民間団体が推進している朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録(※1)に向けた取組に対し、長崎県と釜山広域市が連携し積極的に支援するとともに、日韓友好のシンボルである「朝鮮通信使」を活用した相互交流の拡大など、両国の交流促進や信頼関係強化に繋がる取組を実施します。</p> <p>(※1)「ユネスコ記憶遺産」は、平成28年6月に呼称が「世界の記憶」に変更されています。</p>	<p>(取組項目)</p> <p>i) ユネスコ記憶遺産登録に向けた民間団体の取組を支援 ii) 「朝鮮通信使」を活かした取組の展開</p>
---	--

事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録	目標値①		/	—	登録	—	—	—	
実績値②			—	—	登録	/	/	/	進捗状況	
②/①(達成率)			—	—	/	/	/	/	達成	

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				平成30年度事業の成果等	中核事業							
				H29実績	H30実績	R元計画			うち一般財源	人件費(参考)	指標	主な目標			H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	達成率		
1	取組項目 ii	韓国プロジェクト推進事業費 国際課	(H30 終了) H29-30	7,614	7,614	7,241	7,219	5,184	7,175	県民・韓国の国民	朝鮮通信使に関する記録のユネスコ「世界の記憶」登録1周年記念として、長崎歴史文化博物館において、登録資料等を集めた特集展示及び関連講座、写真展を開催した。 朝鮮通信使縁地連絡協議会や対馬市、釜山文化財団と連携し、日韓の朝鮮通信使ゆかりの地から高校生を対馬に招聘し、交流事業を実施した。 ソウル特別市で開催された「日韓交流おまつり」へブースを出展し、ユネスコ「世界の記憶」に登録された朝鮮通信使をはじめ、本県の文化、観光、物産のPRを行った。	活動指標	イベント開催回数(回)	5	5	100%	5	5	100%	●事業の成果 ・特集展示及び関連講座、写真展を通して、日韓交流の象徴である朝鮮通信使に関する県民の認知度を高めることができた。 ・高校生交流事業においては、朝鮮通信使をテーマとした日韓の高校生49名の交流により、次代の両国の交流を担う若者における相互理解を深めることができた。 ・「日韓交流おまつり」において、朝鮮通信使に係る本県と韓国との交流の歴史や本県の観光、物産等のPRを実施し、本県のプレゼンス向上を図ることができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・平成29年10月に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録され、目標は達成できた。 ・平成30年度においては、ユネスコ「世界の記憶」登録を契機とし、朝鮮通信使を活用した相互交流の促進に向けた情報発信や本県の認知度向上を図った。	○
成果指標	朝鮮通信使に関して関心が高まった来場者の割合(%)	80	89.5	111%	80	88.9	111%														

2	取組項目 ii	アジア・国際戦略プロジェクト推進事業費(韓国関連)	(R元新規) R元-3				県民、韓国の国民等	韓国国民に対し影響力・情報発信力を有する機関等と連携し、ソウル特別市において朝鮮通信使や対馬が果たした役割等に関するパネル展や関連セミナーを開催する。	活動指標	長崎県の魅力をPRする場の設定回数(回)				—	○
		国際課		4,207	4,207	2,392			2						
									成果指標	長崎県に関心を持つようになった来場者の割合(%)	92				

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) ユネスコ記憶遺産登録に向けた民間団体の取組を支援 ・ユネスコ「世界の記憶」への登録に向けた、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会の活動を支援し、平成29年10月に登録を達成した。
ii) 「朝鮮通信使」を活かした取組の展開 ・ユネスコ「世界の記憶」登録を契機として、今後さらに関係機関と連携し、国内外に向けた朝鮮通信使や本県の観光・物産のPRを積極的に行い、本県の認知度向上や日韓交流の促進とともに、観光客誘致などの本県の実利創出・拡大に着実に繋げていく。

### 4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「—」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2	取組項目 ii	アジア・国際戦略プロジェクト推進事業費(韓国関連)	(R元新規) 本事業の前身となる韓国プロジェクト推進事業によって構築した関係機関との連携をさらに強化し、韓国国内における長崎県のプレゼンスの向上を図る。	②	ユネスコ「世界の記憶」登録実現により国内外から注目されることとなるため、これを契機に認知度の向上及び交流人口の拡大に繋がるよう、効果的な情報発信や日韓交流促進のためのイベントを実施する。 さらに、2020年の対馬博物館(仮称)及び朝鮮通信使資料館の開館(対馬市)や釜山文化財団による朝鮮通信使船事業を活用した取組により、韓国国内における本県のプレゼンス向上と観光客誘致などの本県の実利創出・拡大に着実に繋げていく。	改善

注:「2.平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点